

高度国際性涵養教育科目
「学部生の理工系
英語基礎海外演習」
として
2単位取得可能

大阪大学 理工系学部学生のための グローバル・エンジニア育成基礎プログラム クイーンズランド大学 理工系夏期研修

University of Queensland 附属英語研修機関
University of Queensland College(UQC)



【オーストラリア
ブリスベン】

- 個々のレベルに応じた
インターナショナルクラスでの英語レッスン
- 阪大生向け特別レクチャー
- 工学系の大学施設等へのサイトビジット
- 現地の一般家庭にホームステイ

予約不要!

説明会を開催します

4月14日(火)17:00~18:00	工学部U2-213講義室 (吹田キャンパス)
4月16日(木)12:10~13:10	基礎工学部留学生相談室 (豊中キャンパス)
4月17日(金)17:00~18:00	工学部U2-213講義室 (吹田キャンパス)
4月20日(月)12:10~13:10	基礎工学部留学生相談室 (豊中キャンパス)
4月22日(水)17:00~18:00	工学部U2-213講義室 (吹田キャンパス)

個別のお問い合わせ・ご相談は、工学部・国際交流推進センターで随時受付可。

2026年
研修期間: 8月22日(土) 出発 ⇒ 9月27日(日) 帰国 **【37日間】**

参加対象: 大阪大学 理工系学部生(工・基礎工・理学部の1~4年生)

募集人数: 35名程度(最少催行人数12名)

募集受付: 4月1日(水)~5月7日(木)

下記Webサイト又はQRコードからお申し込みください。
※申込者多数の場合、締め切りを早める場合があります。



日次	日付	スケジュール	
1	8/22 (土)	17:25 関西国際空港発 (SQ621) → 22:55 シンガポール(乗継)	機中泊
2	8/23 (日)	00:45 シンガポール発 (SQ255) → 10:20 ブリスベン着 到着後:専用車でホームステイ先へ	ホームステイ
3	8/24 (月)	初日にオリエンテーションおよびキャンパスツアーが行われます	
5	8/25 (金)	●月～金の午前:一般英語プログラム 多国籍クラスで他国の留学生と一緒に学びます ●月～金の午後のうち2～3日: 理工系学部学生のための特別プログラム ・理工系トピックについての講義、ラボ訪問、サイトビジット、フィールドトリップなど ●土・日曜日 授業はありません ホストファミリーや友達等と自由にお過ごしください	ホームステイ
	9/26 (土)	午前:専用車で空港へ 14:35 ブリスベン発 (SQ236) → 20:25 シンガポール (乗継)	機中泊
37	9/27 (日)	01:25 シンガポール発 (SQ618) → 関西国際空港へ 08:50 関西国際空港到着	

※掲載スケジュールは予定です。現地の都合や天候により変更となる場合があります。

※授業料+空港送迎+ホームステイ代込みで(航空券等除く)

※ビザ代、海外旅行保険料、その他個人的支出は含まれていません。
※為替レートの影響で、費用が変動する可能性があります。

最大 **22万円** の奨学金給付予定! (規定・人数制限あり)

※詳細は説明会などでお伝えします。

約 800,000円

- 利用予定航空会社: シンガポール航空(SQ)(エコノミークラス)
- 食事: 現地滞在中 1日2食 (週末は3食)
- 募集人数: 35名程度
- 滞在: ホームステイ(個室) 同一家庭に他の日本人学生、他国籍の学生が滞在中の場合もあります。
- レッスン: 少人数英語クラス(多国籍クラスで一般英語を学ぶプログラムと阪大生向けにカスタマイズした特別プログラムの両方を受講します。)
- 空港送迎: 現地スタッフが空港でお出迎えし、帰国時も空港までお見送りします。

クイーンズランド州の州都 ブリスベンについて

シドニー、メルボルンに次いでオーストラリア第3の都市と言われる街が、クイーンズランド州の州都ブリスベンです。約350万人の人口を誇るブリスベン・シティーは、バスやフェリー、電車といった公共交通機関も発達しています。市内地は、碁盤目状に区画されており、クイーンストリート・モールというショッピング街を中心に栄えています。

- ブリスベンの9月の気候: 最高気温25度、最低気温15度、季節は春



クイーンズランド大学 The University of Queensland

1909年に設立されたクイーンズランド州最古の大学です。オーストラリアを代表する大学連合“Group of Eight”の1校で、国際的な大学連合“Universitas 21”研究機構のメンバーでもあります。また、世界の大学ランキング“QS University Ranking (2025)”で40位にランクするなど、高い評価を得ています。6つの学部(人文学部、商経済法学部、工学/建築/情報工学学部、医学部、理学部(天然資源/農学/獣医学部)、健康/行動科学部)からなります。また、5つの研究機関(分子生命科学研究所、生物工学/ナノテクノロジー研究所、持続可能な鉱物資源研究所、脳科学研究所、農業/食イノベーション研究所)を有する大学としても有名です。

UQカレッジ(UQC)

UQ Collegeはクイーンズランド大学(University of Queensland)付属の語学学校です。ブリスベンの市内中心部からわずか7kmのUQカレッジは、世界で最も美しいキャンパスの1つとされるクイーンズランド大学セントラルシアキャンパスの美しい敷地内にあります。毎年、UQカレッジの英語コースには約50か国から4,000人を超える学生が参加する中、当プログラムでは少人数制(定員18名)の英語クラスおよび理工系学生向けの特別プログラムで学びます。クラス外では、クイーンズランド大学の学生クラブが主催する様々なイベントやアクティビティにも参加できます。ホームステイ先はUQ Collegeが委託するエージェントにより厳正な審査で選ばれたホストファミリーで、彼らと一緒に家族の一員として留学生生活を過ごします。

研修内容

他国の留学生と一緒に勉強するIntegrated Englishプログラムと、理工系学部学生のための特別プログラムの2種類の英語のレッスンを受講することができます。Integrated Englishプログラムは、それぞれの英語力に合わせて他国の生徒と一緒に学ぶ国際クラスです。特別プログラムは、理工系分野に関するレクチャーやサイトビジット等が用意されています。プログラム最終週には理工系に関するトピックでプレゼンテーションをおこないます。



サイトビジットの様子

〈去年のオーストラリア研修参加者〉

◆ 参加者の声 ◆



UQ研修では多国籍クラスでのディスカッションや、理系学生向けの様々なプログラムを通して、英語を「知識」ではなく「使える力」として身につけることができました。その成果として、研修後にはTOEIC L&Rのスコアなどが向上し、自身の成長を客観的に実感できました。オーストラリアでの多文化共生社会の生活をきっかけに、帰国後も学内の留学生交流イベントに携わるなど、活動の幅が広がっています。また、休日には様々な現地体験をし、野生コアラを発見したことは忘れられない思い出です。学びと日常の両方を充実させながら、国際的な挑戦への第一歩を踏み出せる研修だと感じています。(工学部2年)



この研修が初めての海外でした。ホストファミリーや現地の大学のスタッフの方もとても親切で、楽しく充実した5週間を過ごすことができました。UQの英語の授業では、このプログラム以外の学生もいたため、出身国・地域の異なる学生と一緒にアクティビティをしたことで、ただオーストラリアで生活する以上に異文化に触れることができました。中には大学院生もあり、学年や専攻の異なるクラスメートから研究などの話を聞くことができたのもとても有意義な経験でした。(工学部1年)



人生初の海外体験がこの研修で、かつ参加する仲間もお話ししたことのない状態で留学生活が始まりました。初めの1週間こそ日本とは全く異なる環境に適應するのに必死でしたが、オーストラリアで出会った人やものおのれも魅力的で、充実した1ヶ月間を過ごすことができました。語学学校で共に過ごした阪大生やクラスメイトはもちろん、現地の方々と関わる機会にも恵まれ、さまざまな背景を持つ人々との交流を経て英語のスキルだけでなく人としての成長も感じられた有意義な夏休みになりました。(基礎工学部2年)



学部生のうちに留学を経験したいと考えている中で、本研修に出会い応募しました。ホームステイ等に対する渡航前の不安も、ホストファミリーや現地の方々とのフレンドリーさに触れ、気づけば安心に変わっていました。現地ならではの工学分野の授業体験や語学学習に加え、様々な文化的背景をもつ人々が集まるオーストラリアで多くの人と交流し、異なる価値観に触れたことはとても貴重な経験でした。自由時間もあり、行動次第で活動の幅を広げられる点も本研修の大きな魅力だと思います。毎日新しい発見があり、刺激的な5週間を過ごすことができました。(工学部3年)

受付・お問い合わせ



大阪大学 大学院工学研究科・国際交流推進センター

吹田キャンパス

TEL:06-6879-8972

研修専用E-mail: au-program@fsao.eng.osaka-u.ac.jp

http://www.fsao.eng.osaka-u.ac.jp/japanese-students/o_training/procedure/



大阪大学



大阪大学 大学院工学研究科・工学部
国際交流推進センター